**教材10「戦時国債からみる国民経済」**

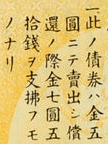
**単元： 占領と改革（生活の混乱と大衆運動の高揚）**

**キーワード：戦時国債　金融緊急措置令　ハイパーインフレ**

**【資料１】**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**【資料２】**

**金 五 千 円 也**

**封 鎖 貯 金 払 出 証 明 願 書**



（滝本嘉博家文書「封鎖貯金払出証明願書」）

（吉川充雄家文書「割増金附戦時貯蓄債券」）

**【資料３】戦後の生活の混乱（『福井県史』通史編6より作成）**

福井市の日ノ出公設市場跡には150店あまりの露店商が立ち並ぶヤミ市ができ、最高協定価格の4倍から10倍の鮮魚が飛ぶように売れたという。（中略）

政府は、1946年2月17日に「金融緊急措置令」「日本銀行券預入令」を、3月3日には「物価統制令」を公布、同時に「三・三物価体系」とよばれる新物価水準を設定した。新円切替え・預金封鎖を中心とする金融措置と、個別物資の価格再統制が行われたのである。

**資料からの問い**

問１　**【資料１】**はいつ、どのような目的で発行されたのか？また、デザインをみて気づいたことを挙げよう。

問２　**【資料１】**に書かれた利率（点線囲み部分）はどれくらい（何％）か？

問３　**【資料１】**の価値は、戦後どうなったと推測されるか？**【資料３】**を参考に考えよう。

問４　**【資料２】**は預金を払い戻す際に必要な資料である。なぜこのような資料が必要だったのか？**【資料3】**を参考に考えよう。

**解答例**

問１　1942年（昭和17）、軍事費調達のために発行した。デザインは日章旗や戦闘機、戦艦、戦車が描かれており、戦争の影響が感じられる。

問２　**【資料1】**の拡大図によると、売出しの金額5円に対して償還時の金額7円50銭となっているので、利率は50％。

　　　※現在の預金や国債の利率と比較すると非常に高く設定されていることがわかる。

問３　終戦直後の猛烈なインフレーション（物価上昇）により貨幣の価値が下がり、債券価値も下落した。

問４　1946年（昭和21）に金融緊急措置令が公布され、預金が封鎖されたため。

　　　※「封鎖貯金」という文字に注目。農業組合の代表者滝本嘉右衛門が、土地改良事業の人夫代金の支払いを目的に 5 千円の払い出しを要求している。

**この資料から学んでほしいこと**

・戦争に国民経済の全てを注ぎ込んでいたことや、ハイパーインフレの実態を学ばせたい。

**アーカイブズガイドはこちら！**

**【資料１】**

**「**[**戦時中の貯金通帳と公債**](https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/file/614230.pdf)**」**

**【資料２】**

**「**[**封鎖預金の払い出し**](https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/file/616760.pdf)**」**



**さらに深める**

関連する資料として、戦時中に発行された衣料切符と物資購入手帳がある。切り取られた跡もあり、実際に使用されていたことがわかる。詳しくは**アーカイブズガイド**「[**衣料切符と物資購入手帳**](https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/file/614229.pdf)」で紹介している。



橋本伝右衛門家文書「衣料切符（乙）」（部分）

ふくいのアーカイブズを活用した教材集

令和６年３月22日公開

問合せ先：福井県文書館　学校連携担当

E-mail：bunshokan@pref.fukui.lg.jp